

1 専門職大学の名称

「東北」、「農林」、「専門職」の3要素を含む名称とする。

【考え方】

①本県のみならず、東北を代表し、我が国の農林業を牽引する高度人材を育成する、②対象となる産業分野を端的に表す、③名称中に「専門職大学」という文字を用いなければならない(専門職大学設置基準第54条)、を踏まえた名称とする。

2 学部・学科構成、入学定員・編入学定員、学位の名称

(1) 学部

大学の規模等に鑑み1学部とし、農林業経営者(スーパートップランナー)の卵を育成する教育組織であることを端的に表す観点から、「農林業経営学部」(仮称)とする。

(2) 学科

大学の特色を高校生に分かり易く伝えると同時に、出口(就農・就業)を意識した実践型のカリキュラムに重点を置く観点から、「農業経営学科」(仮称)／「林業経営学科」(仮称)の2学科とする。

(3) 入学定員・編入学定員

入学定員は全体で40名とし、学科毎の内訳は、現在の農林大学校入校生の、農業系(約8割)と林業系(約2割)の比を参考に設定する。

また、全体の収容定員は、従来検討していた定員(40名×4学年=160名)に、附属農林大学校からの内部進学枠を含む3年次編入学の定員を加えることとする。

	入学定員 (1年次)	編入学定員 (附属農林大からの内部進学を含む) (3年次)	収容定員 (4学年全体)
農業経営学科	32名	若干名(調整中)	128名+α
林業経営学科	8名	若干名(調整中)	32名+α
合計	40名	若干名(調整中)	160名+α

(4) 学位の名称

学位の名称については、学科毎に対象となる産業分野の名を冠して設定する。
農学士(専門職)(仮称)／林学士(専門職)(仮称)

3 大学の「三つの基本方針」について

専門職大学において定めなければならない、教育活動の3つの基本方針(ポリシー)の主な内容は、以下の方向で検討する。詳細は別紙1のとおり。

学位授与の方針 ≒基本構想 (ディプロマ・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> 東北・山形の農林業経営が立脚する地域、自然環境等の特性について理解し、その基礎の上に、我が国はもとより、世界のマーケットを見据えた農林業経営を実践していく心構えがある。(グローバル) 農林業の分野に留まらない知識、英語力を含むコミュニケーション能力を有するとともに多様性などを理解し多面的に物事を考える素養を有している。(高度人材) 農山村地域が抱える諸課題の解決に向け、地域の農林業像について農林業関係者と真摯に議論を交わすこと等ができる。(地域リーダー)
教育課程の編成及び実施の方針 ≒基本構想を踏まえたカリキュラム編成方針 (カリキュラム・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> グローバルな視野を持った農林業経営者を育成する観点から、「読む、書く、聞く、話す」4つの英語技能を身に付けることができる学びに加え、国際的な農林業事情について学べるようカリキュラムを編成する。(英語力) 地域社会のリーダーとしてこれからの農山村を支えてもらう観点から、農山村を舞台としたフィールドワークの講義・演習を行う。(地域課題の解決) 農業については、複合経営による農業経営者を育成することができるよう、作物、園芸、畜産の各分野について、1年生でこれらの生産理論及び防疫理論を幅広く学べるようカリキュラムを編成する。(複合経営にも対応) 林業については、「伐って、植えて、育てる」森林の循環利用を図る経営管理の理論や、産出する木材をはじめとする森林資源の利活用に関する理論について、幅広く学べるようカリキュラムを編成する。(やまがた森林ノミクス)
学生受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> 国際的な視座に立って、地域の農林業・農山村が抱える課題に向き合う意欲がある人。 地域の農林業・農山村が抱える課題解決や新たな価値の創造に取り組むために、従来の常識にとらわれない柔軟な思考力を備えている人。 農林業に高い関心を持ち、農林業や経営の中核となり、農林業の発展に貢献する意欲がある人。

4 カリキュラム編成

「教育課程の編成及び実施の方針」を踏まえ、専門職大学設置基準に定められた分野ごとにカリキュラムを編成する。

(1) 単位数

基礎科目	職業専門科目	展開科目	総合科目	合計
20単位	87単位 (講義・演習 42単位 実習 45単位 うち学外実習 25単位)	20単位	4単位	131単位

(2) カリキュラム

各学科のカリキュラムは別紙2・3のとおり。

(3) 実地体験実習及び臨地実務実習の内容

- ・**実地体験実習**は、1年生に実施。優れた経営体・事業体の下で幅広い農林業現場の実態を学ぶ。
- ・**臨地実務実習**は、2年生、3年生、4年生に実施。2年生は主に生産管理、3年生は主に経営管理、4年生は総合的な経営について学ぶ。
- ・**臨地実務実習の時期**は、山形の特徴的な農産物の栽培歴や、やまがた森林ノミクスを実現するために必要な森林施業が実施可能な適期を考慮して「臨地実務実習ウィーク」(学事暦の**ピンク帯**の時期)に設定(大学内の講義、演習、実習は、学事暦の**白帯**の時期に実施)。
- ・学生は実習先と調整のうえ、各学期の「臨地実務実習ウィーク」(計30日間)の中から、任意の計15日間を選択し、集中的に実施。

(4) 年間スケジュール(学事暦)

	前 期				後 期							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	隔週の週1日単位で実地体験実習を実施				7月下旬 8月上旬	隔週の週1日単位で実地体験実習を実施				12月下旬 1月上旬	1月上旬 中旬	
2年～ 3年	2週間単位で実習期間を設定 (臨地実務実習ウィーク)				8月上旬 下旬	2週間単位で実習期間を設定 (臨地実務実習ウィーク)				12月上旬 中旬	1月中旬～3月下旬 春季休業	
4年	2週間単位で実習期間を設定 (臨地実務実習ウィーク)				前期試験 卒業研究 中間発表	2週間単位で実習期間を設定 (臨地実務実習ウィーク)				12月下旬 1月上旬	後期試験 卒業研究 発表会	

5 入試内容

「学生受入れの方針」を踏まえ、以下の入試内容を適切に組み合わせて実施する。

区分	一般選抜	総合型選抜	学校推薦型選抜	特別選抜
			指定校推薦型選抜	(社会人、私費外国人留学生)
考え方	県内外を問わず、専門職大学卒業後に就農・就業する意思を持つ高校生等を幅広く対象とする。	県内外を問わず、専門職大学卒業後に就農・就業する意思を持ち、将来的に地域農業・林業を牽引する高い意欲を持つ高校生等を幅広く対象とする。 (いわゆる「AO入試」)	専門職大学卒業後に就農・就業する意思を持ち、将来的に地域農業・林業を牽引する高い意欲を持ち、他の模範となる県内高校生を対象とする。	県内外を問わず、専門職大学卒業後に就農・就業する意思を持つ私費外国人留学生やリカレント教育を希望する社会人を幅広く対象とする。
選考方法	大学入学共通テスト(英、数I・A、理科から1科目、地理歴史及び公民から1科目の4科目)、面接、小論文	書類、面接、小論文	書類、訪問面接	書類、面接
人数	農業経営学科 10名 林業経営学科 2名	農業経営学科 10名 林業経営学科 2名 東北6県の高校出身者向けの優先枠を設けることを検討	農業経営学科 12名 林業経営学科 4名 県内高校から推薦	農業経営学科 若干名 林業経営学科 若干名 総合型選抜の内数

専門職大学の3つの基本方針(ポリシー)とこれらの対応関係

ディプロマ・ポリシー (DP)	カリキュラム・ポリシー (CP)	対応DP	アドミッション・ポリシー (AP)	対応CP
(1) 東北、とりわけ山形の農業経営又は林業経営が立脚する地域、自然環境等の特性について理解し、その基礎の上に、我が国はもとより、世界のマーケットを見据えた農業経営又は林業経営を実践していく心構えがある。	【学科共通】(1) 農業、林業の各分野の経営体において、その中核を担うために必要な知識や、農山村の地域社会をリーダーとして支えていくために必要な知識等を身に付けるための科目群を、講義、演習、実習等を効果的に組み合わせ編成する。	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8)	(1) 農林業生産技術や経営などを学ぶ上で必要な基礎学力と知識を身に付けている人	(1) (2)
(2) 農業又は林業の分野に留まらない知識、英語力を含むコミュニケーション能力を有するとともに、多様性を理解し多面的に物事を考える能力がある。	【学科共通】(2) 農業、林業別の科目と、分野横断的な共通の科目を適切に組み合わせ4年間の教育課程を編成する。	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8)	(2) 論理的に思考し、表現できる人	(6) (農) (林)
(3) 農業又は林業の生産管理に関する知識や技術を有している。	【学科共通】(3) グローバルな視野を持った農林業経営者の育成につなげる観点から、「読む、書く、聞く、話す」の4つの英語技能を身に付けることができる学びに加え、国際的な農林業事情について学べるよう編成する。	(1) (2)	(3) 国際的な視座に立って、地域の農林業・農山村が抱える課題に向き合う意欲がある人	(1) (3) (4) (5) (6) (農) (林)
(4) 農業又は林業の経営管理に関する知識や技術を有している。	【学科共通】(4) 地域社会のリーダーとしてこれからの農山村を支える観点から、本県の農山村を舞台にしたフィールドワーク(地域づくりのケーススタディ)の手法についての講義・演習を実施できるよう編成する。	(1) (2)	(4) 地域の農林業・農山村が抱える課題解決や新たな価値の創造に取り組むために、従来の常識にとらわれない柔軟な思考力を備えている人	(3) (4)
(5) 農業又は林業を起点とした加工・販売など経営の多角化に資する知識や技術を有している。	【学科共通】(5) 展開科目については、学科や学年の枠を超えた学生同士の学び合いを通じ、既成の発想に囚われない自由な思考を促す講義・演習の実施が可能となるよう編成する。また、学ぶ領域における基礎的な事項を理解したうえで、これを自ら応用できる素養を身につける観点から、それぞれの領域について、講義と演習をセットで履修する。	(7) (8) (1) (2) (3) (4) (5) (6)	(5) 農林業に高い関心を持ち、農林業や経営の中核となり、農林業の発展に貢献する意欲がある人	(3) (4) (6) (農) (林)
(6) 農業又は林業と隣接する他分野の知識を活用することにより、農林業経営において、新たな事業展開を生み出すための手法を理解している。	【学科共通】(6) 各科目の成績評価方法については、シラバスにその具体的内容を記載するが、①講義及び演習については、学修内容を自己の言葉で他者に表現できる力を、②実習については、個別の実践内容の結果も含め、主体的に思考し、取り組む姿勢や過程を、それぞれ重点的に評価する。	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8)	(7) 農山村地域が抱える諸課題の解決に向け、地域の農業像又は林業像について農林業関係者と真摯に議論を交わすこと等ができる。	(4) (5) (6) (農) (林)
(7) 農山村地域が抱える諸課題の解決に向け、地域の農業像又は林業像について農林業関係者と真摯に議論を交わすこと等ができる。	【農業経営学科(仮称)】(1) 作物・園芸・畜産のいずれかの単作経営のみならず、これらの複合経営による農業経営者を育成することができるよう、作物、園芸、畜産の各分野について、1年生でこれらの生産理論及び防疫理論を幅広く学べるよう、職業専門科目を編成する。 (2) 農業の専門性及び実践力を高めるため設ける実習科目については、理論と実践を架橋する観点と地域の農村、農業関係者との関係づくりに資する観点から、①1年生においては、作物・園芸・畜産の各分野における農業経営の実態について理解を深める体験実習を行うこととし、②2年生以降については、学生が将来経営したい分野の実践力を高められるよう、臨地実務実習を段階的・継続的に行うことができるよう編成する。	(3) (4) (5)	(8) 修得した知識と技術を駆使して農林業経営の課題解決に必要な情報を収集・分析・整理するとともに、分析・整理した結果を表現できる能力を有している。	(1) (2)
(8) 修得した知識と技術を駆使して農林業経営の課題解決に必要な情報を収集・分析・整理するとともに、分析・整理した結果を表現できる能力を有している。	【林業経営学科(仮称)】(1) 「伐って、植えて、育てる」森林の循環利用を図る経営管理の理論や、産出する木材をはじめとする森林資源の利活用に関する理論について幅広く学べるよう編成する。 (2) 林業の専門性及び実践力を高めるため設ける実習科目については、理論と実践を架橋する観点と地域の山村、林業関係者との関係づくりに資する観点から、①1年生においては、造林・保育・伐採の各施策をはじめ、特用林産物の生産を含む林業経営や木材産業の実態について理解を深める体験実習を行うこととし、②2年生以降については、学生が将来経営したい分野の実践力を高められるよう、臨地実務実習を段階的・継続的に行うことができるよう編成する。	(3) (4) (5)		(4) (5) (6) (農) (林)

カリキュラムマップ（案）（農業経営学科（仮称））

科目	教育課程													
	1年		2年		3年		4年							
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
基礎科目 (20単位)	■地域等の特性(4単位)【DP1】 山形・東北学 2		哲学と東北 2											
	■コミュニケーション能力(8単位)【DP2】 英語 2 英会話演習 2		英会話実習Ⅰ 1	英会話実習Ⅱ 1			コミュニケーション論 2							
	■一般教養、自ら考える力(8単位)【DP2】 情報基礎(実習) 1		1単位を選択 情報応用(実習) 1 スポーツ(実習) 1			法律学概論 2								
	(自由)生物学 2 (自由)化学 2 (自由)物理学 2	2単位を選択 気象・気候学概論 2 統計学 2	2単位を選択 政治学 2 社会学 2											
職業専門 科目 (87単位)	■生産理論・技術(34単位)【DP3】 土壌・肥料学 2 園芸学(果樹・野菜・花き) 2 稲作・畜産学 2		生命生体・環境学 2 園芸学演習(果樹・野菜・花き) 2 稲作・畜産学演習 2 耕畜連携論 1 植物病理学 2 家畜衛生学 2	(自由)家畜人工授精論 4	先端農業技術論 1									
	■経営全般(生産管理、経営管理等)(36単位)【DP1】【DP3】【DP4】 農場実習Ⅰ(稲作・畜産) 4 農場実習Ⅰ(果樹・野菜・花き) 4		8単位を選択 圃場実習Ⅱ(稲作) 8 圃場実習Ⅱ(野菜) 8 圃場実習Ⅱ(花き) 8 圃場実習Ⅱ(果樹) 8 圃場実習Ⅱ(畜産) 8				マーケティング論 2 組織マネジメント論 2 農業経済学 2	農業経営分析・計画 2 税制・簿記論 1	簿記各論 1					
	■加工・販売(9単位)【DP5】		農業生産工程・食品衛生論 2	食品製造・販売学 2	食品製造・販売実習 4		農業知的財産論 1		臨地実務実習Ⅲ(経営総合) 8					
	■地域課題解決能力(8単位)【DP1】【DP3】【DP7】		講義:2単位、演習:1単位、計3単位を選択 東北の稲作 2 東北の野菜 2 東北の花き 2 東北の果樹 2 東北の畜産 2		東北の稲作演習 1 東北の野菜演習 1 東北の花き演習 1 東北の果樹演習 1 東北の畜産演習 1	農山村活性化論 1	農山村活性化論演習 4							
展開科目 (20単位)	■応用的・創造的能力(20単位)【DP2】【DP6】 講義(1~4年前期):2単位、演習(1~4年後期):2単位 ※講義10単位と演習10単位を選択													
総合科目 (4単位)	デザイン論	デザイン論 演習	金融学	金融学演習	発酵学 ・醸造学	発酵学 ・醸造学演習	建築学	建築学演習	社会福祉論	社会福祉論 演習	栄養学	栄養学演習	山形・東北 観光学	山形・東北 観光学演習
■総合的能力(4単位)【DP7】【DP8】 経営分析・計画演習 4														

＜カリキュラムの概要＞

1年
農業の分野全般にわたる講義・演習と実習等を通じ、自分が将来的に経営したい分野への理解を深める

↓

2年
自らが将来経営の軸にしたい分野を中心とした生産管理の学び等を深める

↓

3年
農業経営に必要となる経営管理の学び等を深める

↓

4年
これまで学んだ生産管理及び経営管理の学び等を総合化し、就農に備える

カリキュラムマップ（案）（林業経営学科（仮称））

科目	教育課程												
	1年		2年		3年		4年						
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
基礎科目 (20単位)	■地域等の特性(4単位)【DP1】 山形・東北学 2		哲学と東北 2										
	■コミュニケーション能力(8単位)【DP2】 英語 2 英会話演習 2		英会話実習 I 1 英会話実習 II 1				コミュニケーション論 2						
	■一般教養、自ら考える力(8単位)【DP2】 情報基礎(実習) 1 (自由)生物学 2 (自由)化学 2 (自由)物理学 2		1単位を選択 情報応用(実習) 1 スポーツ(実習) 1 2単位を選択 政治学 2 社会学 2		法律学概論 2								
	2単位を選択 気象・気候学概論 2 統計学 2												
職業専門科目 (87単位)	■生産理論・技術(34単位)【DP3】 森林土壌・樹木学 2 造林学 2 森林生産学 2 森林労働安全衛生論 1 演習林実習 I 8		生命生体・環境学 2 造林学演習 2 森林生産学演習 2 森林保護学 2 森林土木学 2 森林情報学 1 演習林実習 II 8										
	■経営全般(生産管理、経営管理等)(36単位)【DP1】【DP3】【DP4】 林業実地体験実習 1		臨地実務実習 I (生産管理等) 8		マーケティング論 2 組織マネジメント論 2 森林経営管理学 2 臨地実務実習 II (経営管理等) 8 海外林業事情 1		林業経営分析・計画 2 税制・簿記論 1 簿記各論 1 臨地実務実習 III (経営総合) 8						
	■加工・販売(9単位)【DP5】		木質科学概論 1 木材利活用論 2		木材加工・販売実習 4 森林エネルギー論 2								
	■地域課題解決能力(8単位)【DP1】【DP3】【DP7】		講義: 2単位、演習: 1単位、計3単位を選択 東北の林業 2 東北の林業演習 1 東北の木材産業 2 東北の木材産業演習 1 東北の特用林産物 2 東北の特用林産物演習 1		農山村活性化論 1 農山村活性化論演習 4								
展開科目 (20単位)	■応用的・創造的能力(20単位)【DP2】【DP6】		講義(1~4年前期): 2単位、演習(1~4年後期): 2単位 ※講義10単位と演習10単位を選択										
	デザイン論	デザイン論演習	金融学	金融学演習	発酵学・醸造学	発酵学・醸造学演習	建築学	建築学演習	社会福祉論	社会福祉論演習	栄養学	栄養学演習	山形・東北観光学
総合科目 (4単位)	■総合的能力(4単位)【DP7】【DP8】		経営分析・計画演習 4										

＜カリキュラムの概要＞

1年
林業の分野全般にわたる講義・演習と実習等を通じ、自分が将来的に経営したい分野への理解を深める

↓

2年
自らが将来経営の軸にしたい分野を中心とした生産管理の学び等を深める

↓

3年
林業経営に必要となる経営管理の学び等を深める

↓

4年
これまで学んだ生産管理及び経営管理の学び等を総合化し、就業に備える